

| 専用ビューア |

## 画像・動画・PDFビューア

2024年3月19日更新

ファイル管理の [共有] フォルダに登録した画像・動画・PDFデータは、専用ビューアで確認できます。

### 目次

- 画像・動画・PDFビューアを起動する
- 画像ビューア画面の説明
- 動画ビューア画面の説明
- PDFビューア画面の説明

## 画像・動画・PDFビューアを起動する

1.ファイル管理で [共有] 以下のフォルダを選択します。

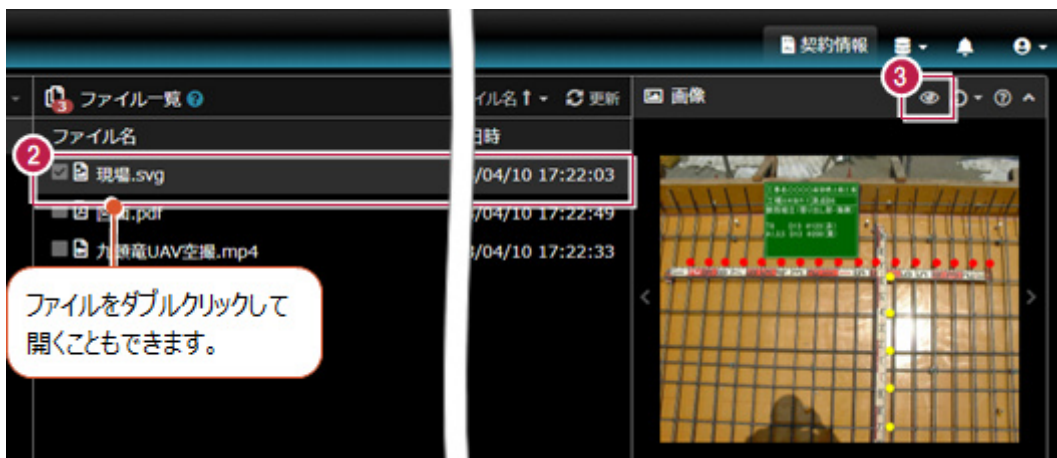


2.画像・動画・PDFファイルを選択します。

3.ファイル情報の [ビューア] をクリックします。

専用ビューアが起動します。

※現場ビューアで画像・動画・PDFファイルをダブルクリックして起動することもできます。

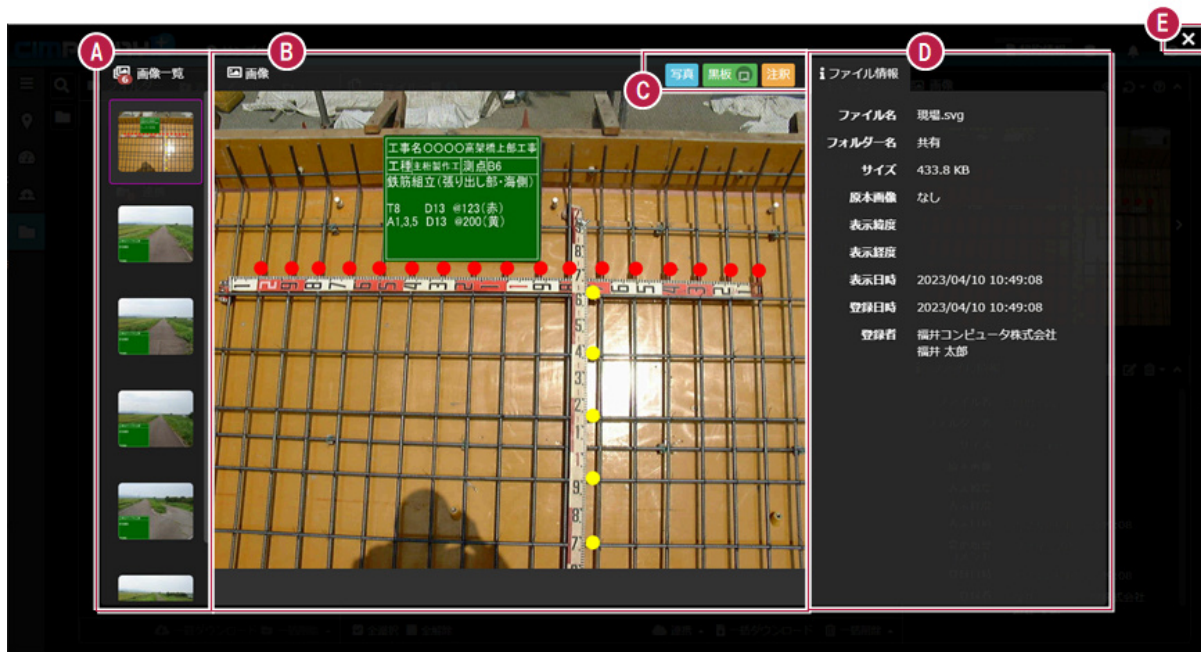





## 画像ビューア画面の説明

画像ビューア画面について説明します。

対象ファイル形式は、gif、jpg/jpeg、png、bmp、svgです。

※ファイル情報の [360°データ] が [はい] になっている画像は、パノラマビューアが起動します。



<p><b>A</b></p>	<p>画像一覧が表示されます。</p>
<p><b>B</b></p>	<p><b>A</b>で選択した画像が拡大表示されます。 マウスホイールをスクロールすると拡大・縮小します。</p> <p><b>B</b> 拡大表示時にマウス左ボタンドラッグや右ボタンドラッグすると移動します。 右クリックするとメニューが表示され、画像コピーや保存ができます。</p>
<p><b>C</b></p>	<p><b>【写真】</b> 写真レイヤの表示/非表示を切り替えます。 svgファイル選択時、黒板または注釈レイヤが存在する場合には表示されません。</p> <p><b>【黒板】</b> 黒板レイヤの表示/非表示を切り替えます。 svgファイル選択時、黒板レイヤが存在する場合には表示されます。 [黒板] 右側のボタンをクリックすると、原図表示/拡大表示の切り替えができます。</p> <p></p> <p>[原図]  : 原図サイズで表示します。 [拡大]  : 黒板データを拡大表示します。</p> <p><b>【注釈】</b> 注釈レイヤの表示/非表示を切り替えます。</p>

svgファイル選択時、注釈レイヤが存在する場合には表示されます。

※ [注釈] をオフにした場合



電子小黒板付きデジタル工事写真の場合は、ファイル情報、Exif情報、写真情報タブが表示されます。

ⓓ

JPEGなどの画像ファイルの場合は、ファイル情報、Exif情報タブが表示されます。

svgファイルの場合は、ファイル情報タブが表示されます。  
タブをクリックすると、それぞれの情報を確認できます。

ⓔ

画像ビューアを閉じます。

## 動画ビューア画面の説明

動画ビューア画面について説明します。

対象ファイル形式は、mp4、webmです。




動画ビューアの操作メニューは、使用しているブラウザによって異なります。

ここでは、Google Chromeの画面で説明します。

※ファイル情報の [360°データ] が [はい] になっている動画は、パノラマビューアが起動します。

※タブレット端末で動画ビューアを開く際の注意点は、「[タブレット端末での注意点](#)」を参照してください。



<b>A</b>	再生/一時停止を切り替えます。
<b>B</b>	 : 音量を変更します。  : 全画面表示に切り替えます。  : 再生速度を変更します。
<b>C</b>	動画ビューアを閉じます。

## PDFビューア画面の説明

PDFビューア画面について説明します。

PDFビューアの操作メニューは、使用しているブラウザによって異なります。

ここでは、Google Chromeの画面で説明します。



| 専用ビューア |

# パノラマビューア

2024年10月22日更新

ファイル管理の [共有] フォルダに登録した360°データ（全天球画像/動画）は、パノラマビューアで確認できます。  
対象ファイル形式は、jpg、jpeg、mp4です。

## 目次

- ・ パノラマビューアを起動する
- ・ パノラマビューア画面の説明

## パノラマビューアを起動する

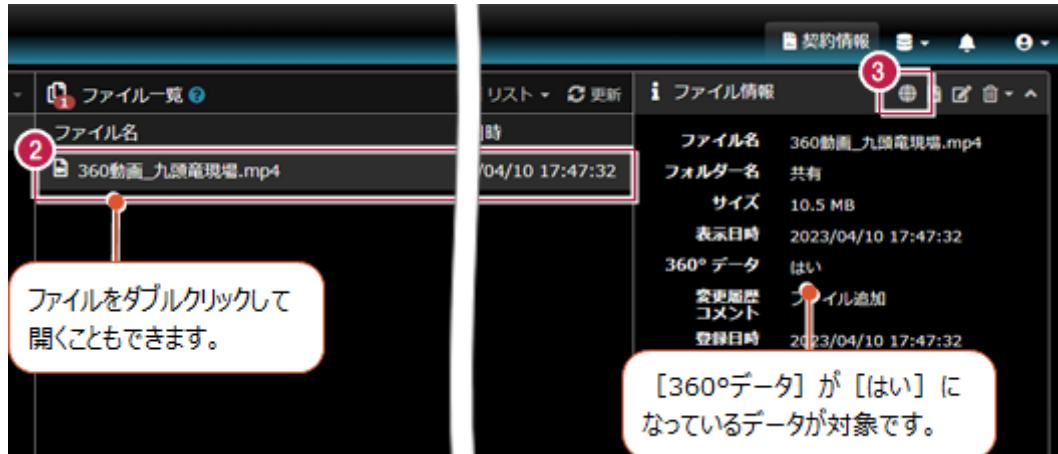
1.ファイル管理で [共有] 以下のフォルダを選択します。



2.360°データ（全天球画像/動画）ファイルを選択します。

3.ファイル情報の「ビューア」をクリックします。


パノラマビューアが起動します。



## パノラマビューア画面の説明









A

URL共有 

現場を共有するためのURLを出力します。

※参照者権限やURL共有で開いた場合は使用できません



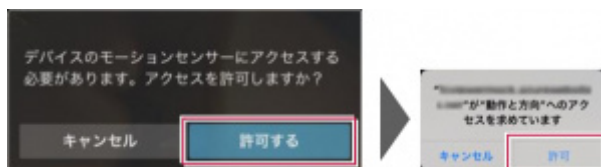
		ん。 ・【 <a href="#">作成者</a> 】 <a href="#">現場共有URLを発行する</a>
		<b>パソコンの場合：</b>  全画面表示され、ヘッドセットなどでVR閲覧できます。  <b>WebXR機能が有効なタブレット端末の場合：</b>  画面が2分割され、ハコスコなどでVR閲覧できます。
<b>B</b>	再生 	動画を再生します。
	一時停止 	動画を一時停止します。
	ミュート/ミュート解除 	音声のオン・オフを切り替えます。

### 《補足》iPadでのパノラマビューアの視点移動について

縦方向はモーションセンサーを使用した移動（タブレットの向きを変更することによる移動）のみ可能です。

横方向はモーションセンサーを使用した移動とスワイプによる移動が可能です。

モーションセンサーを使用する場合は、初めてパノラマビューアを起動した際に表示されるアクセス許可メッセージで、「許可」を選択してください。



設定し直す場合は、[設定] - [Safari] - [詳細] - [Webサイトデータ] でWebサイトデータを削除した後、再度パノラマビューアを起動して設定してください。



| 専用ビューア |

# Officeビューア

2024年3月19日更新

ファイル管理の [共有] フォルダに登録したOfficeファイル（Word、Excel、PowerPoint）は、ブラウザまたはアプリで確認できます。

対象ファイル形式は、docx、doc、xlsx、xlsm、xls、pptx、pptです。

## 目次

- ・ ブラウザで開く
- ・ アプリで開く

## ブラウザで開く

Officeファイルをブラウザ（読み取り専用）で開きます。

1. ファイル管理で [共有] 以下のフォルダを選択します。



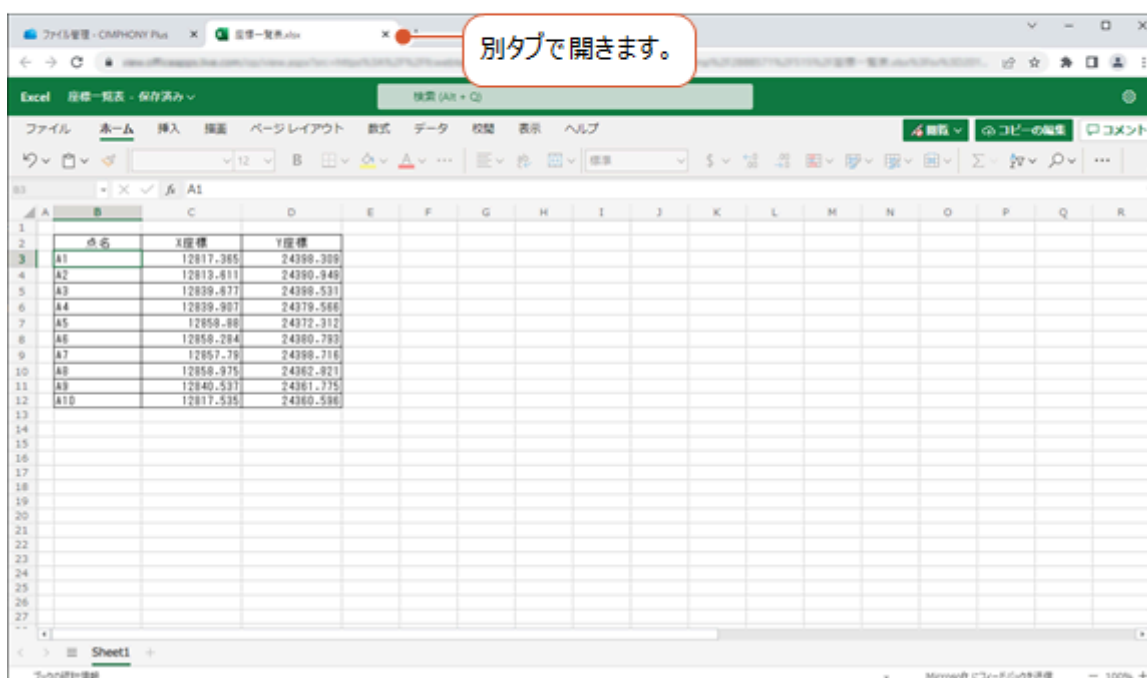
2. Officeファイルを選択します。

3. ファイル情報の [ビューア] をクリックします。

4. [ブラウザで開く] をクリックします。

Officeファイルがブラウザで開きます。

※現場ビューアでOfficeファイルをダブルクリックした場合もブラウザで開きません。



## アプリで開く

Officeファイルをアプリ（読み取り専用）で開きます。

※Officeプログラムがインストールされている必要があります。

※コンピューター（Windows）の場合に有効です。

コンピューター（macOS）、およびタブレット端末ではアプリで開くことはできません。

1. ファイル管理で [共有] 以下のフォルダーを選択します。



2.Officeファイルを選択します。

3.ファイル情報の [ビューア] をクリックします。

4. [アプリで開く] をクリックします。



5.許可のメッセージが表示された場合は、 [ (アプリ名) を開く ] をクリックします。

Officeファイルがアプリで開きます。



座標一覧表.xlsx - 保護ビュー

検索 (Alt+Q)

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ Acrobat

自動保存 目録検索

保護ビュー 注意—インターネットから入手したファイルは、ウイルスに感染している可能性があります。編集する必要がなければ、保護ビューのままにしておくことをお勧めします。編集を有効に

B3 A1

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2		点名	X座標	Y座標								
3		A1	12817.365	24398.309								
4		A2	12813.611	24390.949								
5		A3	12839.677	24398.531								
6		A4	12839.907	24379.566								
7		A5	12858.88	24372.312								
8		A6	12858.284	24380.793								
9		A7	12857.79	24398.716								
10		A8	12858.975	24362.821								
11		A9	12840.537	24361.775								
12		A10	12817.535	24360.596								
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												

### 《補足》アプリが起動しない場合

アプリが起動しない場合は、Officeプログラムを最新に更新してください。

| 専用ビューア |

# 図面ビューア

2024年3月19日更新

ファイル管理の [図面] フォルダに登録した図面データは、図面ビューアで確認できます。

対象ファイル形式は、sfc/p21、dwg/dxf (2D)、xml (福井コンピュータAscii形式ファイル) です。

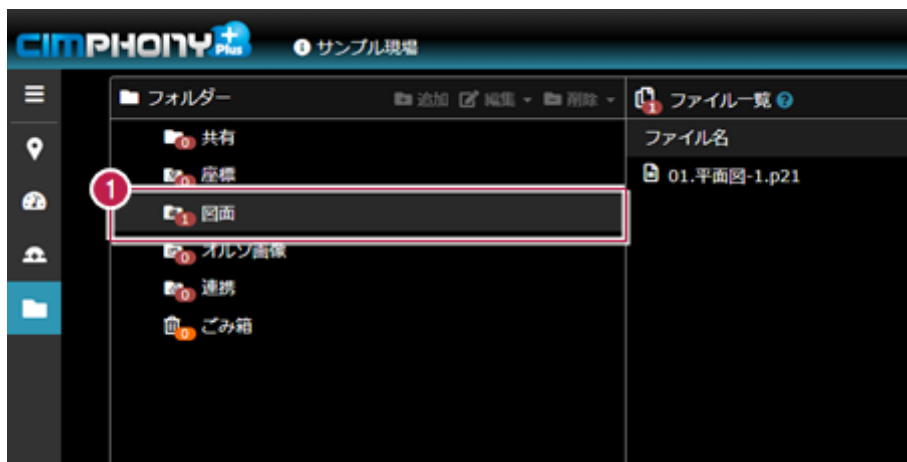
## 目次

- ・ 図面ビューアを起動する
- ・ 図面ビューア画面の説明

## 図面ビューアを起動する

1. ファイル管理で [図面] フォルダを選択します。

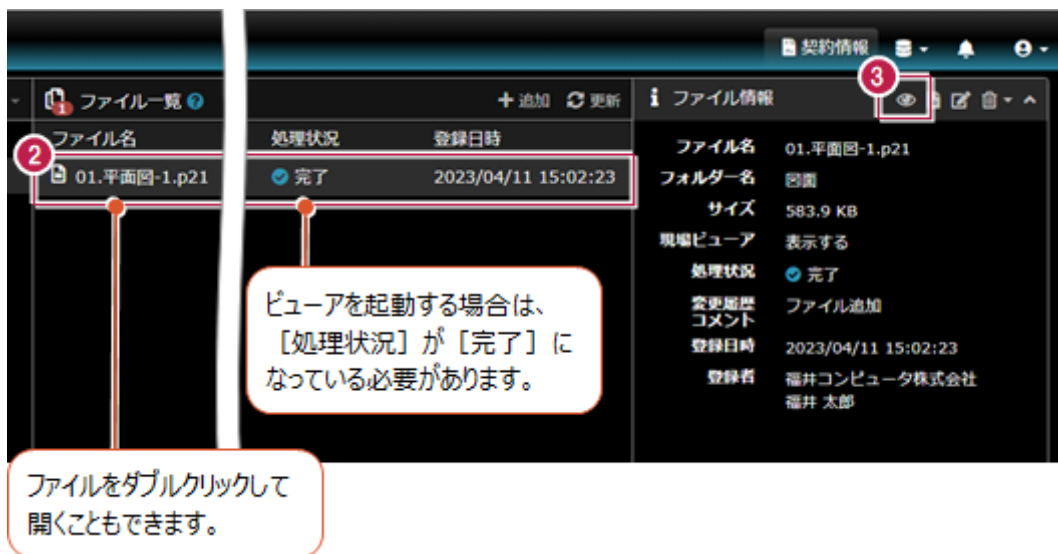




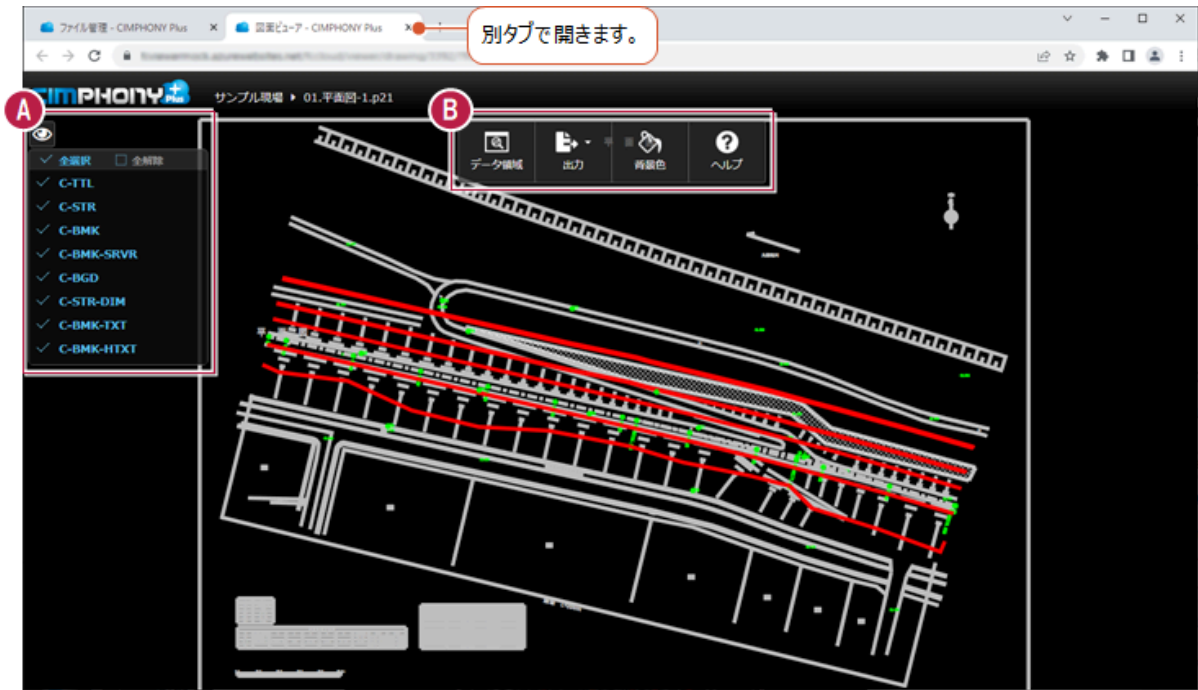
2. 図面ファイルを選択します。


3. ファイル情報の [ビューア] をクリックします。

図面ビューアが起動します。



## 図面ビューア画面の説明



<p><b>A</b></p>	<p>レイヤ設定 </p>	<p>チェックをオンにしたレイヤに属する要素がビューアに表示されます。</p> <p>チェックをオフにしたレイヤに属する要素は非表示になります。</p> <p>[全選択] [全解除] をクリックして、レイヤの表示/非表示を一括で設定することもできます。</p>
<p><b>B</b></p>	<p>データ領域</p>	<p>図面全体を表示します。</p>
	<p>出力</p>	<p>現在の視点位置からの画像をキャプチャします。</p> <p>アカウントをお持ちでない方に期間限定でビューアを公開するURLを発行することもできます。</p> <p>※参照者権限ではURL共有はできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="#">【作成者】現場ビューアの画像を出力する</a></li> <li>・ <a href="#">【作成者】現場共有URLを発行する</a></li> <li>・ <a href="#">【参照者】現場ビューアの画像を出力する</a></li> </ul>
	<p>背景色</p>	<p>ビューアの背景色を白または黒に切り替えます。</p> <p>背景と同じ色の要素は、色が反転します。</p>
	<p>ヘルプ</p>	<p>図面ビューアの各コマンドの概要を表示します。</p>

### 《補足》 図面ビューアでの制限事項

- ラスタ（画像、写真）は表示されません。
- DXF/DWGファイルの場合はモデル空間のみ表示されます。
- ユーザー定義線種は全て実線に置き換えられます。
- 全体の領域に対して小さすぎる要素は表示されません。
- レイヤ色ではなく、要素が持つ色で表示されます。
- 図面の要素数が多いと、描画速度が遅くなることがあります。

| 専用ビューア |

# 設計ビューア (3D)

2024年3月19日更新

ファイル管理の「設計」フォルダーに登録した設計データ（LandXML、基本設計データ）は、設計ビューアで確認できます。

対象ファイル形式は、xmlです。

## 目次

- 設計ビューアを起動する
- 設計ビューア画面の説明

## 設計ビューアを起動する

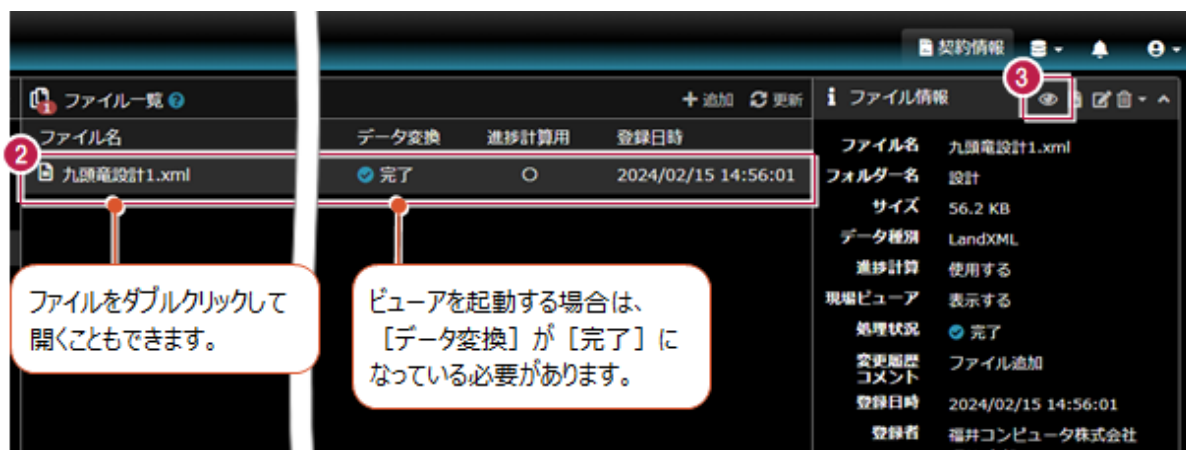
1. ファイル管理で「設計」フォルダーを選択します。



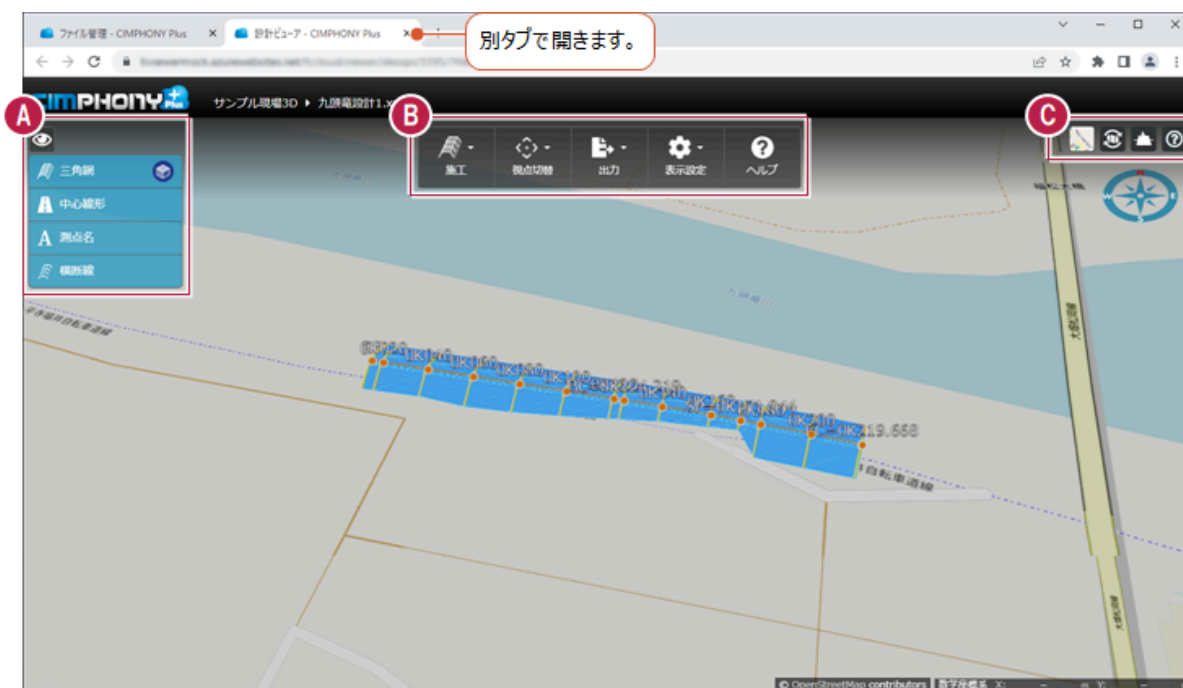
2.設計ファイルを選択します。

3.ファイル情報の [ビューア] をクリックします。

設計ビューアが起動します。



## 設計ビューア画面の説明



A




表示切替



各要素（三角網、中心線形、測点名、横断線）の表示/非表示を切り替えます。

※路線データがない場合（三角網データのみの場合）

		<p>は、[三角網]のみ表示されます。</p> <p>※基本設計データの場合は、[三角網]は表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="#">【作成者】地図に表示するデータの表示/非表示を切り替える</a></li> <li>・ <a href="#">【参照者】地図に表示するデータの表示/非表示を切り替える</a></li> </ul> <p>各補足「3D現場の場合」参照</p>
②	施工	<p>断面（管理断面・任意断面）を確認します。</p> <p>※基本設計データの場合は、[任意断面]は表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="#">【作成者】管理断面を確認する (3D)</a></li> <li>・ <a href="#">【作成者】任意断面を確認する (3D)</a></li> <li>・ <a href="#">【参照者】管理断面を確認する (3D)</a></li> <li>・ <a href="#">【参照者】任意断面を確認する (3D)</a></li> </ul>
	視点切替	<p>視点位置を指定した方向へ移動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="#">【作成者】視点を切り替える</a></li> <li>・ <a href="#">【参照者】視点を切り替える</a></li> </ul>
	出力	<p>現在の視点位置からの画像をキャプチャします。</p> <p>アカウントをお持ちでない方に期間限定でビューアを公開するURLを発行することもできます。</p> <p>※参照者権限ではURL共有はできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="#">【作成者】現場ビューアの画像を出力する</a></li> <li>・ <a href="#">【作成者】現場共有URLを発行する</a></li> <li>・ <a href="#">【参照者】現場ビューアの画像を出力する</a></li> </ul>
	表示設定	<p>3Dデータの標高を調整します。</p> <p>※参照者権限では標高補正はできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="#">【作成者】3Dデータの標高を補正する (3D)</a></li> </ul>
	ヘルプ	<p>設計ビューアの各コマンドの概要を表示します。</p>
③	地図の切り替え 	<p>背景の地図の種類を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="#">地図を切り替える</a></li> </ul>
	背景の表示/非表示	<p>現場ビューアの背景に表示される地図の表示/非表示</p>

	示 	を切り替えます。
	地中のデータ表示/非表示 (3D) 	地中のデータの表示/非表示を切り替えます。 ・ <a href="#">【作成者】地中のデータの表示/非表示を切り替える (3D)</a> ・ <a href="#">【参照者】地中のデータの表示/非表示を切り替える (3D)</a>
	操作ヘルプ 	画面操作の方法を表示します。

| 専用ビューア |

## 3Dモデルビューア (3D)

2024年3月19日更新

ファイル管理の [3Dモデル] フォルダーに登録した3Dモデルデータは、3Dモデルビューアで確認できます。

対象ファイル形式は、ifc (IFC2x3)、skp、dwg/dxf (3D)、fbx (TREND-COREから登録の場合)、fc3daです。

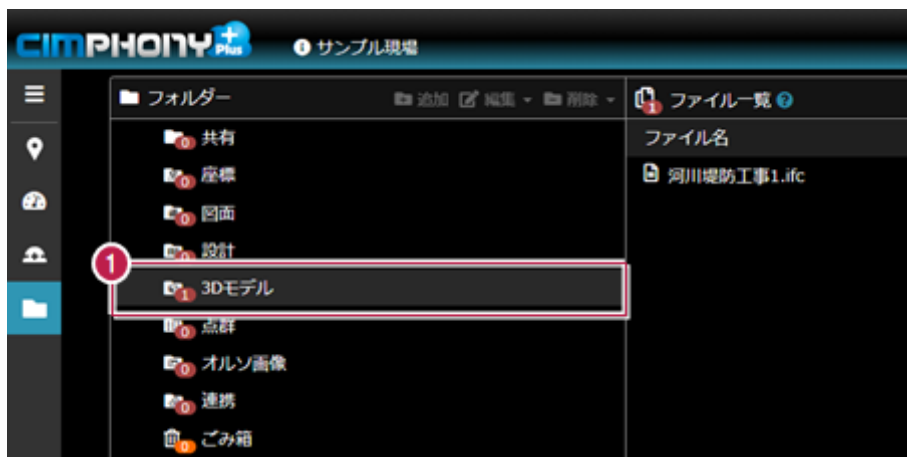
### 目次

- 3Dモデルビューアを起動する
- 3Dモデルビューア画面の説明

## 3Dモデルビューアを起動する

1. ファイル管理で [3Dモデル] フォルダーを選択します。



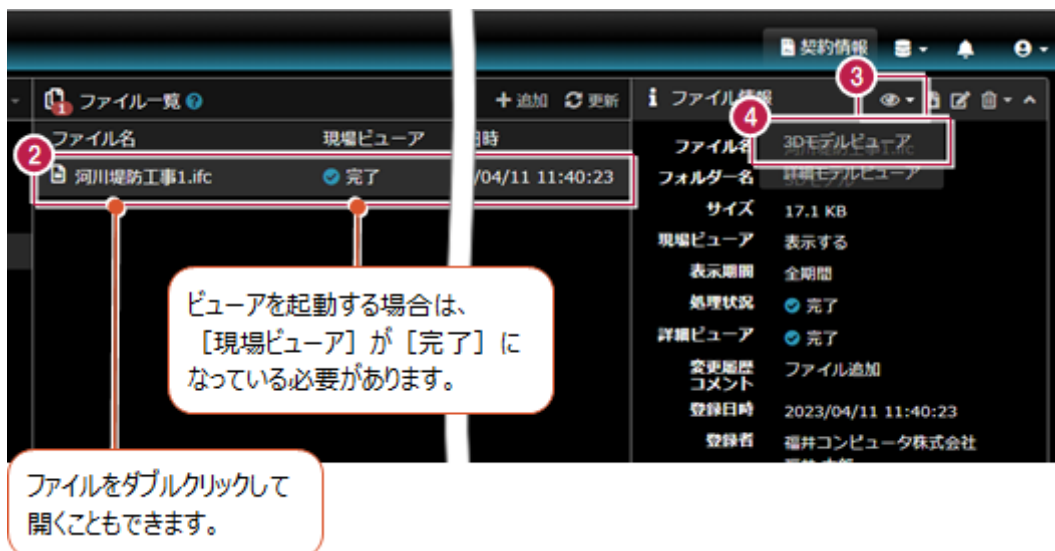


2.3Dモデルファイルを選択します。

3.ファイル情報の [ビューア] をクリックします。

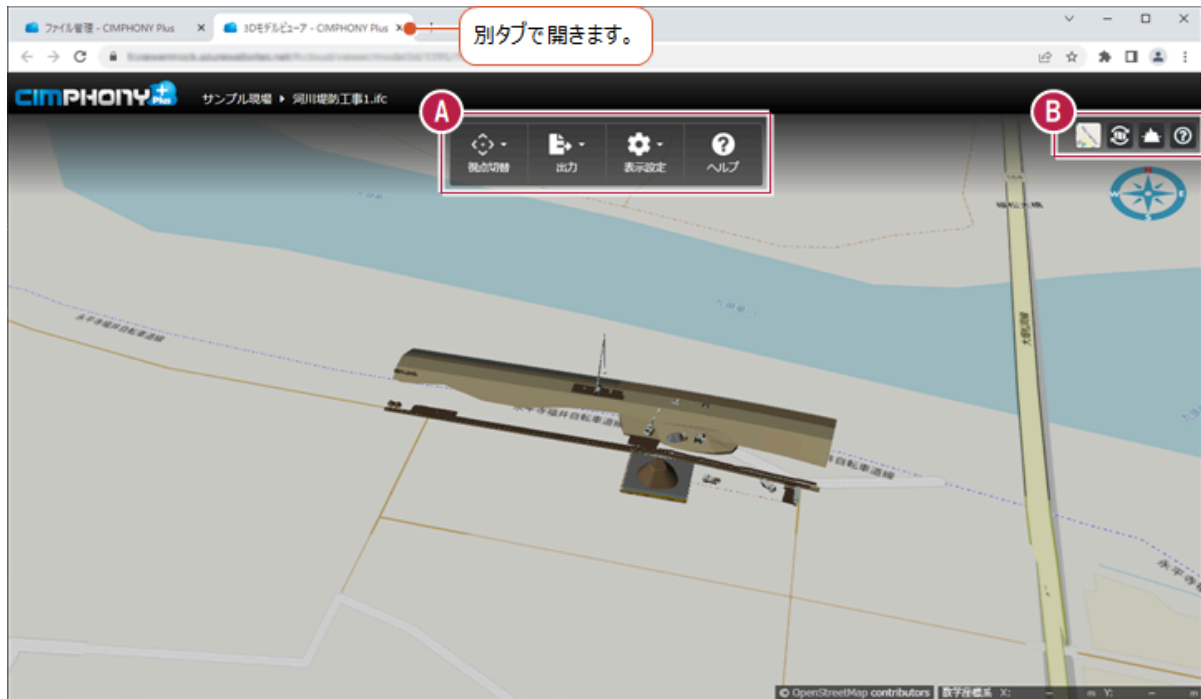
4. [3Dモデルビューア] をクリックします。



3Dモデルビューアが起動します。





※ [現場ビューア] が [完了]、[詳細ビューア] が [エラー] の場合は、ファイル情報の [ビューア] をクリックすると3Dモデルビューアが起動します。

## 3Dモデルビューア画面の説明



<p>①</p>	<p>視点切替</p>	<p>視点位置を指定した方向へ移動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="#">【作成者】 視点を切り替える</a></li> <li>・ <a href="#">【参照者】 視点を切り替える</a></li> </ul>
	<p>出力</p>	<p>現在の視点位置からの画像をキャプチャします。 アカウントをお持ちでない方に期間限定でビューアを公開するURLを発行することもできます。 ※参照者権限ではURL共有はできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="#">【作成者】 現場ビューアの画像を出力する</a></li> <li>・ <a href="#">【作成者】 現場共有URLを発行する</a></li> <li>・ <a href="#">【参照者】 現場ビューアの画像を出力する</a></li> </ul>
	<p>表示設定</p>	<p>3Dデータの標高を調整します。 ※参照者権限では標高補正はできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="#">【作成者】 3Dデータの標高を補正する (3D)</a></li> </ul>
	<p>ヘルプ</p>	<p>3Dモデルビューアの各コマンドの概要を表示します。</p>
<p>②</p>	<p>地図の切り替え</p> 	<p>背景の地図の種類を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="#">地図を切り替える</a></li> </ul>
	<p>背景の表示/非表示</p> 	<p>現場ビューアの背景に表示される地図の表示/非表示を切り替えます。</p>

	<p>地中のデータ表示/非表示 (3D)</p> 	<p>地中のデータの表示/非表示を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【<a href="#">作成者</a>】<a href="#">地中のデータの表示/非表示を切り替える (3D)</a></li> <li>・【<a href="#">参照者</a>】<a href="#">地中のデータの表示/非表示を切り替える (3D)</a></li> </ul>
	<p>操作ヘルプ </p>	<p>画面操作の方法を表示します。</p>

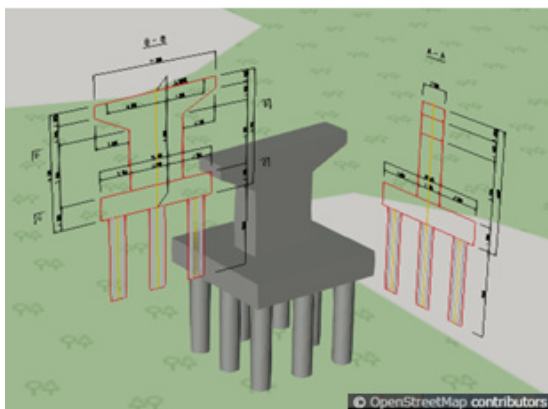
### 《3D補足》TREND-CORE連携データの場合

■ [表示切替] が表示されます。

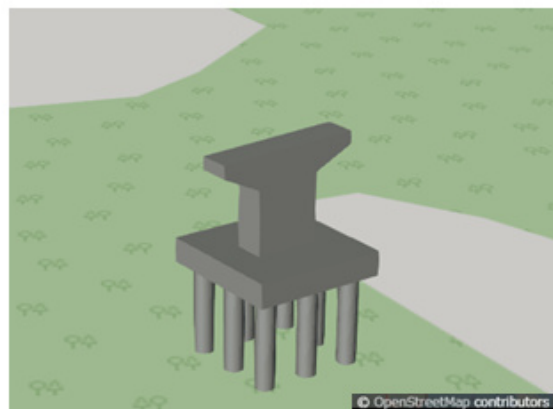


[3Dモデル] の右側のボタンをクリックすると、[3Dモデル+3DA] [3Dモデルのみ] の切り替えができます。

【3Dモデル+3DA】



【3Dモデルのみ】



■ [表示設定] に [図面表示] が追加され、図面の濃淡などを設定できます。  
設定の詳細は、「[【作成者】図面の表示設定を行う](#)」「[【参照者】図面の表示設定を行う](#)」を参照してください。



| 専用ビューア |

# 点群ビューア (3D)

2024年3月19日更新

ファイル管理の [点群] フォルダに登録した点群データは、点群ビューアで確認できます。

対象ファイル形式は、txt、csv、asc、xyz、las、laz、e57です。

## 目次

- ・ 点群ビューアを起動する
- ・ 点群ビューア画面の説明

## 点群ビューアを起動する

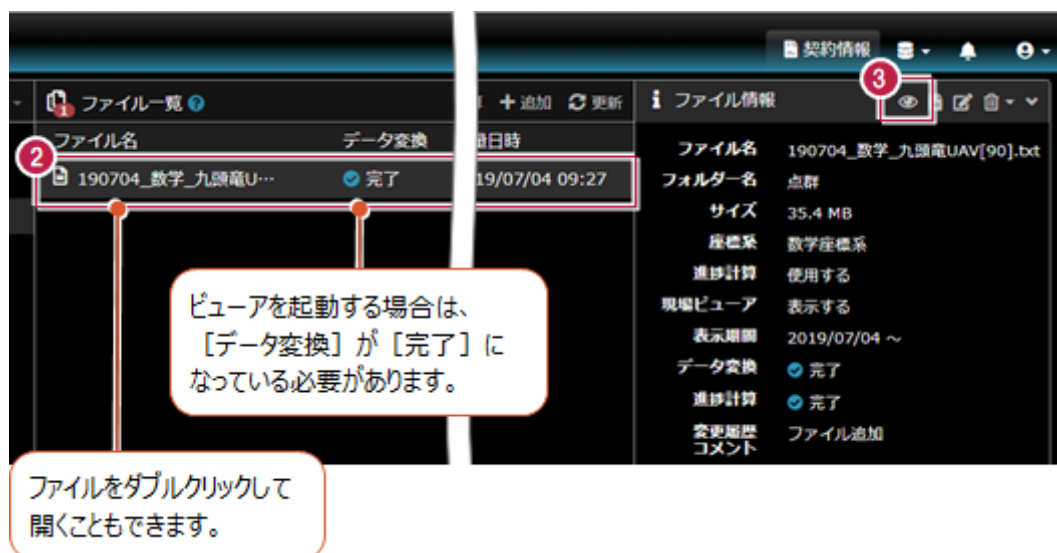
1. ファイル管理で [点群] フォルダを選択します。



2.点群ファイルを選択します。

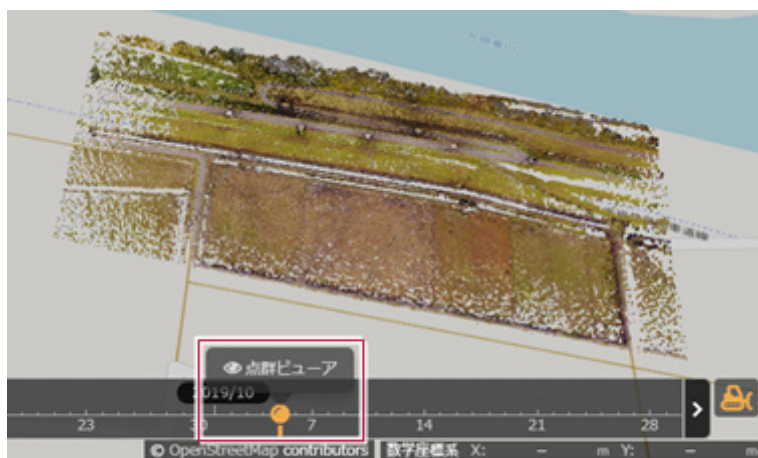
3.ファイル情報の [ビューア] をクリックします。

点群ビューアが起動します。



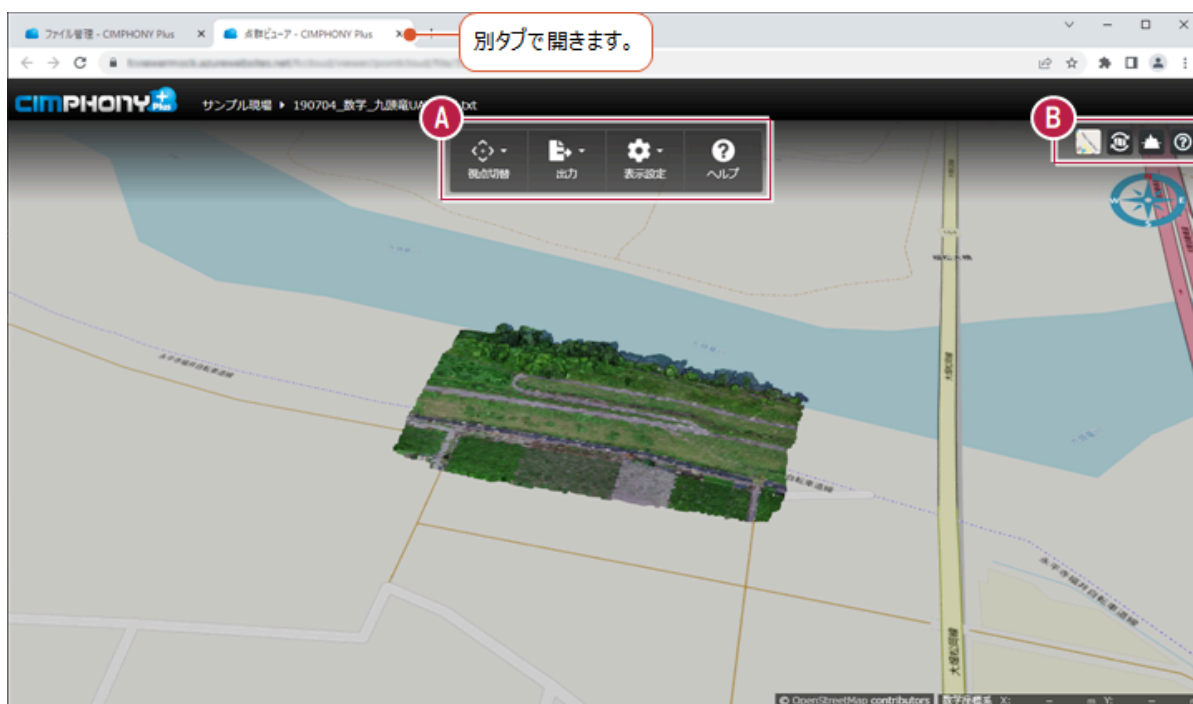
### 《3D補足》現場ビューアのタイムラインから点群ビューアを開く

現場ビューアの点群データのタイムラインで、ピンの上にマウスを移動して [点群ビューア] をクリックすると、点群ビューアが起動します。





## 点群ビューア画面の説明



<p>Ⓐ</p>	<p>視点切替</p>	<p>視点位置を指定した方向へ移動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="#">【作成者】 視点を切り替える</a></li> <li>・ <a href="#">【参照者】 視点を切り替える</a></li> </ul>
----------	-------------	--

	出力	<p>現在の視点位置からの画像をキャプチャします。 アカウントをお持ちでない方に期間限定でビューアを公開するURLを発行することもできます。 ※参照者権限ではURL共有はできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="#">【作成者】現場ビューアの画像を出力する</a></li> <li>・ <a href="#">【作成者】現場共有URLを発行する</a></li> <li>・ <a href="#">【参照者】現場ビューアの画像を出力する</a></li> </ul>
	表示設定	<p>点群サイズの変更や3Dデータの標高を調整します。 ※参照者権限では標高補正はできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="#">【作成者】点群の表示設定を行う (3D)</a></li> <li>・ <a href="#">【作成者】3Dデータの標高を補正する (3D)</a></li> <li>・ <a href="#">【参照者】点群の表示設定を行う (3D)</a></li> </ul>
	ヘルプ	<p>点群ビューアの各コマンドの概要を表示します。</p>
<p>Ⓑ</p>	<p>地図の切り替え</p> 	<p>背景の地図の種類を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="#">地図を切り替える</a></li> </ul>
	<p>背景の表示/非表示</p> 	<p>現場ビューアの背景に表示される地図の表示/非表示を切り替えます。</p>
	<p>地中のデータ表示/非表示 (3D)</p> 	<p>地中のデータの表示/非表示を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="#">【作成者】地中のデータの表示/非表示を切り替える (3D)</a></li> <li>・ <a href="#">【参照者】地中のデータの表示/非表示を切り替える (3D)</a></li> </ul>
	<p>操作ヘルプ</p> 	<p>画面操作の方法を表示します。</p>